

令和 8 年度 年間授業計画 教科 地歴公民 科目 地理総合

教科: 地歴公民 科目: 地理総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 高橋 洋樹	2組 藤野 貴弘	3組 双木 俊介	4組 双木 俊介	5組 双木 俊介	6組 高橋 洋樹
使用教科書:	二宮書店 地理総合 世界に学び地域へつなぐ 帝国書院 新詳高等地図					

教科 地歴公民 の目標:

【知識及び技能】	知識: 地理にかかわる諸事象, 歴史的事項を理解する。技能: 地理・歴史に関する資料・史料を効果的に調べる。
【思考力、判断力、表現力等】	地理歴史にかかわる事象の意味・意義を理解した上で, 多面的・多角的に考察し, 考察した結果を効果的に説明したり, それらをもとに議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理歴史学習で習得した知識・技能にもとづいた思考・判断・表現を, 現代社会の諸問題解決の方法として応用しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識: 自然環境を中心に, 地理に関わる諸事象を理解する。 技能: 科学的立場から, 調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べる。	科学的な立場にたち, 地理に関わる事象の意味や意義, 特色や相互の関連を, 多面的・多角的に考察する力や, 考察したことを効果的に説明したり, それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を, 科学的成果をもとに, 主体的に追究, 解決しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 1 球面上の世界と日本	指導項目に対し, 次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
地球儀・世界地図の使い方, 時差の計算方法の理解する。	地球儀・地図の使用	地球儀の使い方, 世界地図の作製方法, 時差の計算方法が身についたか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
分析・考察の場面に応じた地球儀・世界地図の使い分けについて考察する。	教科書・地図帳	地球儀とさまざまな種類の世界地図を, 用途に応じて適切に使い分けができてきたか。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
地球儀・世界地図を活用しようとする地理的な態度の育成する。	デジタル地図の提示	地球儀とさまざまな種類の世界地図を, 積極的かつ主体的に使用できてきたか。				
単元 2 地理的環境の特色(1)	指導項目に対し, 次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
人やもの, 情報, 資本・サービスの移動のようすについて, 資料から読み取る技能を身につける。	国内や国家間の結びつき	人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために, 課題解決のための方策を多面的・多角的に考える。	教科書・地図帳	複数の統計地図を結びつけ, 世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
統計資料から分布や変化などを意欲的に読み取ることができる。	デジタル地図の提示	統計資料を意欲的に読み取り, それを表現できたか。				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説						
単元 3 地理的環境の特色(2)	指導項目に対し, 次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
身の回りの地図を集める, 地理院地図の活用, GISの仕組みと役割について理解する。	暮らしのなかの地図とGIS	GISの特徴や利用方法, しくみを理解し, GISで作成した地図を重ね合わせ, 地域の特徴を分析する方法を身につけたか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
地図について目的により表現方法に違いがあること, 紙の地図と電子地図の用途や活用について, それぞれの長所を考察する。	教科書・地図帳	地図は目的により表現方法に違いがあること, 紙の地図と電子地図の用途や活用について, それぞれの長所を考察したか。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
身の回りの地図に興味を持ち, 地図の知識を活用する。GISの作業に取り組み, 作成した地図から地域の特徴を分析する。	デジタル地図の提示	身の回りの地図に興味を持ち, 地図の知識を活用する。GISの作業に取り組み, 作成した地図から地域の特徴を分析できたか。				
単元 4 地理的環境の特色(3)	指導項目に対し, 次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
地形, 気候についての基礎知識を習得する。	世界の大地形, 小地形, 気候区分	地形, 気候についての基礎知識を習得したか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
プレートテクトニクス理論, 大気の大循環の理解とケッペン気候区分の分布の対応づけ	教科書・地図帳	プレートテクトニクスの理論, 大気の大循環を理解した上で, 世界の地形, 気候の分布を把握できているか。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
地形図, 分布図, 雨温図などの地理学に必要な統計・資料の作成への取り組み	デジタル地図の提示	地形図, 雨温図を科学的な立場から考察する姿勢が養われたか。				
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説						

令和 8 年度 年間授業計画 教科 地歴公民 科目 地理総合

教科: 地歴公民 科目: 地理総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 高橋 洋樹	2組 藤野 貴弘	3組 双木 俊介	4組 双木 俊介	5組 双木 俊介	6組 高橋 洋樹
使用教科書:	二宮書店 地理総合 世界に学び地域へつなぐ 帝国書院 新詳高等地図					

教科 地歴公民 の目標:

【知識及び技能】	知識: 地理にかかわる諸事象, 歴史的事項を理解する。技能: 地理・歴史に関する資料・史料を効果的に調べる。
【思考力、判断力、表現力等】	地理歴史にかかわる事象の意味・意義を理解した上で, 多面的・多角的に考察し, 考察した結果を効果的に説明したり, それらをもとに議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理歴史学習で習得した知識・技能にもとづいた思考・判断・表現を, 現代社会の諸問題解決の方法として応用しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識: 自然環境を中心に, 地理に関わる諸事象を理解する。 技能: 科学的立場から, 調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べる。	科学的な立場にたち, 地理に関わる事象の意味や意義, 特色や相互の関連を, 多面的・多角的に考察する力や, 考察したことを効果的に説明したり, それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を, 科学的成果をもとに, 主体的に追究, 解決しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
単元 5 世界各地の生活文化 (1)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6	
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	宗教の分布と生活文化, 言語の分布と生活文化, 移民と難民, 生活文化の多様性を理解する。	宗教・言語と生活文化	世界の多様性, 異文化尊重の姿勢, 主題図や写真, グラフ, 統計資料から世界宗教の分布と特徴を捉えることができたか。	○	○		○
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え, 世界的な難民と移民の問題を資料から捉え, 考察する。	教科書・地図帳	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え, 世界的な難民と移民の問題を資料から捉え, 考察できたか。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用 (場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
世界の宗教の特徴をまとめ, 身近な地域の外国人と関連させ, 難民と移民の問題を調べ, 解決策を意欲的に探究する。	デジタル地図の提示	世界の宗教の特徴をまとめ, 身近な地域の外国人と関連させ, 難民と移民の問題を調べ, 解決策を意欲的に探究できたか。					
単元 6 世界各地の生活文化 (2)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6	
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	多民族社会とASEANの統合, 宗教にねざした生活文化と産業, 多様な宗教・言語と経済統合による課題を考察する。	宗教の多様性と生活文化～ASEAN諸国	図版や写真から多民族社会を構成する地域的な特徴を捉え, 生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。	○	○		○
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
重層的, 複合的なASEAN諸国の図や写真から言語・宗教の観点で特徴を見出す。統合による変化について考察する。	教科書・地図帳	重層的, 複合的なASEAN諸国の図や写真から言語・宗教の観点で特徴を見出す。統合による変化について考察できたか。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用 (場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
多様な言語・宗教からなるASEANにおける経済成長と経済格差について意欲的に探究する。	デジタル地図の提示	多様な言語・宗教からなるASEANにおける経済成長と経済格差について意欲的に探究できたか。					
定期考査 (第2学期中間考査) / 返却と解説							
単元 7 世界各地の生活文化 (3)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6	
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	イスラーム社会の多様性と生活文化について習得する。	乾燥地域とイスラームの社会について	ムスリムの生活文化に差異をもたらしている要因を主題図や写真などの資料をもとに考える。	○	○		○
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
イスラームに焦点を当て, 気候条件, 宗派の違いについて学ぶ。	教科書・地図帳	社会問題の例として, パレスチナやエルサレムの問題, 少数民族の問題を民族・言語の分布から理解する。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用 (場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
聖地メッカからの距離, エネルギー資源の有無などを基盤とした経済水準の違いについて理解する。	デジタル地図の提示	経済発展とイスラーム世界の変化, イスラーム圏の現状と課題について学ぶ。					
単元 8 世界各地の生活文化 (4)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6	
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	産業の発達や地域統合を捉え, 自然環境や言語, 宗教と関連づけて考察する。	経済統合による生活文化の変化～EUと周辺諸国	図版や写真から産業の発達や地域統合を捉え, 自然環境や言語, 宗教と関連づけて整理できたか。	○	○		○
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
EUへの加盟国と離脱する国があることをふまえ, EU統合に伴う生活への影響を考察する。	教科書・地図帳	EU統合に伴う生活への影響を考察し, 今後の課題について資料をもとに協議できたか。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用 (場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究する。	デジタル地図の提示	言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究できたか。					
定期考査 (第2学期期末考査) / 返却と解説							

令和 8 年度 年間授業計画 教科 地歴公民 科目 地理総合

教科: 地歴公民 科目: 地理総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者: 1組 高橋 洋樹 2組 藤野 貴弘 3組 双木 俊介 4組 双木 俊介 5組 双木 俊介 6組 高橋 洋樹

使用教科書: 二宮書店 地理総合 世界に学び地域へつなぐ
帝国書院 新詳高等地図

教科 地歴公民 の目標:

【知識及び技能】	知識: 地理にかかわる諸事象, 歴史的事項を理解する。技能: 地理・歴史に関する資料・史料を効果的に調べる。
【思考力、判断力、表現力等】	地理歴史にかかわる事象の意味・意義を理解した上で, 多面的・多角的に考察し, 考察した結果を効果的に説明したり, それらをもとに議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理歴史学習で習得した知識・技能にもとづいた思考・判断・表現を, 現代社会の諸問題解決の方法として応用しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識: 自然環境を中心に, 地理に関わる諸事象を理解する。 技能: 科学的立場から, 調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べる。	科学的な立場にたち, 地理に関わる事象の意味や意義, 特色や相互の関連を, 多面的・多角的に考察する力や, 考察したことを効果的に説明したり, それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を, 科学的成果をもとに, 主体的に追究, 解決しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 9 世界各地の生活文化 (5)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】			
	経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え、アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解する。	グローバル化による生活文化の変化～アメリカ・カナダ	図版や写真からアメリカの産業を捉えながら, 世界の生活文化や経済への影響を整理できたか。			
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	
産業や世界の貿易体制の変化を考察し, それに伴う世界やアメリカの課題について考察する。	教科書・地図帳	グローバルな観点やからアメリカの社会経済システムを資料から捉え, 世界の経済や生活文化への影響を考察できたか。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え, 世界への影響をふまえながら追究する。	デジタル地図の提示	アメリカの社会経済システムを農業, 工業などの観点から多面的, 多角的に捉え, 世界への影響を意欲的に探究できたか。				
単元 10 世界各地の生活文化 (6)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】			
	開発の背景を捉え, 開発と自然環境, 生活文化, 産業との関わりを理解する。	土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ	図版や写真から開発の背景を捉え, 開発と自然環境, 生活文化, 産業との関わりを整理できたか。			
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】			
資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について, 課題とともに考察する。	教科書・地図帳	資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について, 課題とともに協議できたか。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
自然環境と生活文化の相互の関連を捉え, 開発の背景について意欲的に探究する。	デジタル地図の提示	自然環境と生活文化の相互の関連を捉え, 開発の背景について意欲的に探究できたか。				
単元 11 地球的課題と国際協力	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】			
	持続可能な社会やSDGsについて学び, グローバルな視野をもった科学技術者の育成をめざす。	地球環境問題	深刻な地球環境問題を生じている大気汚染, 森林減少, 砂漠化, 気候変動について事例をあげて捉える。			
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】			
地球規模で起きている環境問題は, 一国だけで対応できるものではないことを多面的, 多角的に考える。	教科書・地図帳	深刻な地球環境問題の影響と将来の予測から, 解決の取り組みについて考察できたか。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
地球規模で起きている環境問題は, 自らとかわる問題であることをSDGsをふまえて探究する。	デジタル地図の提示	地球規模で起きている環境問題は, 自らとかわる問題であることをSDGsをふまえて探究する。				
単元 12 生活圏の諸課題	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				4
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】			
	日本列島の地形と気候の特徴を, グラフ, 写真などの資料をもとに, 多様性や自然の恩恵があることを理解する。	日本の自然災害と防災	日本列島で毎年のように起きる, 風水害, 火山, 地震, 津波, 都市型災害の具体的事例について捉える。			
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】			
自然災害はどのような自然環境と関係しているのか, それに対する備えについて考える。	教科書・地図帳	地理の力で地域の課題を解決する手段について, 考察できたか。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
自然災害の具体的事例について, 新旧の地形図, ハザードマップ, 気象情報, 電子地図を利用する技能を身に付け捉える。	デジタル地図の提示	居住地域での防災・減災意識の向上のためには, どのような備えをしたらよいかについて, 考察できたか。				
定期考査(学年末考査)/返却と解説						